

令和3年度

企業版ふるさと納税に対する評価

1 事業概要

交付対象事業の名称	酒田市まち・ひと・しごと創生推進事業
事業計画期間	2020（令和元）年度 ～ 2024（令和6）年度
事業の概要	企業版ふるさと納税による寄附を、酒田市まち・ひと・しごと創生総合戦略に位置付けた以下の事業に活用することにより、人口の社会減少、自然減少の抑制を目指す。 1. 地域経済の好循環により「働きたい」がかなうまち事業 2. ファンが多く、移住者・定住者・観光客が増加するまち事業 3. 結婚・妊娠・出産・子育て・教育の希望がかなうまち事業 4. 地域のつながりと安全・安心にあふれた暮らしやすいまち事業

2 まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関する寄附の実績

法人名	寄付金額（円）	充当事業
株式会社栄電子	5,000,000	ファンが多く、移住者・定住者・観光客が増加するまち事業
株式会社ウォーターエージェンシー	1,000,000	地域のつながりと安全・安心にあふれた暮らしやすいまち事業

3 重要業績評価指標（KPI）

重要業績評価指標（KPI）	事業開始前	2020 令和2	2021 令和3	2022 令和4	2023 令和5	2024 令和6	目標値 (2024年度)	進捗状況	
①新規就業者の創出 (2020-2024年の累計)	実績値 (人)	0	233	446	-	-	-	800	概ね順調
②平均給与収入	実績値 (万円)	297.6	296.3	303.2	-	-	-	335	遅れている
③人口に対する社会 減の抑制	目標値 (人)	-401	-148	-242	-	-	-	-100	概ね順調
④5年後の合計特殊出 生率の向上	目標値 (-)	1.42	1.36	未確定	-	-	-	1.50	-
⑤酒田に住み続けた と思う市民の割合	目標値 (%)	78.2	-	79.9	-	-	-	80.0	概ね順調

4 目標達成・未達理由

充当事業に関連するKPI③は概ね順調に推移した。⑤は調査実施年ではないため令和3年度の実績は不明。

5 評価

事業の評価	地方創生に相当程度効果があった
意見等	令和3年度も2社からの寄附をいただき、地方創生に向けた事業をより強力に進めることができたが、人口減少や少子高齢化が進む中で、経済的な豊かさだけでなく、精神的な豊かさにも留意するウェルビーイングの考え方についても、今日では大変重要であると主張されるようになってため、こうした今日的な課題にも対応すべく取り組んでいく必要がある。

令和3年度

地方創生推進交付金活用事業に対する評価

1 事業概要

交付対象事業の名称	酒田市産業振興まちづくりセンター（サンロク）整備・運営事業		
事業計画期間	2017（平成29）年度 ～ 2021（令和3）年度		
総合戦略における位置づけ	基本目標	I 地域経済の好循環により「働きたい」がかなうまち	
	数値目標	5年間で新規就業者を800人創出【2020-2024年度の累計】	
事業の概要	地元企業、農林水産事業者等のニーズとシーズをつなぐ（マッチング）ことにより様々なプロジェクトを組成するとともに、女性活躍推進、創業支援を実施し、新たな産業やビジネスの創出を活性化する。		
事業費（円）	50,436,444	うち交付金充当額	25,218,222

2 重要業績評価指標（KPI）

重要業績評価指標（KPI）		事業開始前	2017 平成29 増加分	2018 平成30 増加分	2019 令和元 増加分	2020 令和2 増加分	2021 令和3 増加分	評価対象年度 (R3) までの 増加分累計	進捗状況
センターのマッチングにより創出される ビジネス・プロジェクトの 契約金額	目標値 (千円)	-	1,020	34,425	34,425	34,425	34,425	138,720	達成
	実績値 (千円)	0	27,788	45,968	40,458	32,389	29,112	175,715	
センターのマッチングにより創出される ビジネス・プロジェクトの 件数	目標値 (件)	-	4	135	135	135	135	544	更なる取組 が必要
	実績値 (件)	0	4	87	154	87	88	420	
センターの支援により創業した 件数	目標値 (件)	-	20	30	30	30	31	141	達成
	実績値 (件)	0	45	33	44	23	34	179	

3 目標達成・未達理由

<p>①コロナ禍の影響により、ビジネスマッチング機会が減少したもののECやアフターコロナに対応した取組等の支援に注力し全体目標値は達成した。</p> <p>②企業がコロナ禍で打撃を受けたことが目標未達の要因であり、経済回復によりビジネスマッチング機会等は増加する見込み。</p> <p>③コロナ禍の影響により創業は減少したものの、適切な創業支援により全体目標は達成した。</p>

4 評価

事業の評価	地方創生に相当程度効果があった
意見等	コロナ禍という外的要因による影響があったものの、ECやアフターコロナに対応するための取り組みを支援することで事業者の収入増に貢献できた。開業ができて、閉店してしまう店もこのコロナ禍である。2021年の年末から、商店街の中で閉店をしている店舗を見てきた。開店した後のフォローを、しっかりとする体制を作っていくことが必要である。

令和3年度

地方創生推進交付金活用事業に対する評価

1 事業概要

交付対象事業の名称	参加する暮らしに人が集うまち酒田（酒田市生涯活躍のまち基本計画）		
事業計画期間	2019（令和元）年度 ～ 2023（令和5）年度		
総合戦略における位置づけ	基本目標	Ⅱ ファンが多く、移住者・定住者・観光客が増加するまち	
	基本的方向	人口に対する社会減の抑制 △485人【2018年】 → △100人【2024年】	
事業の概要	医療機関や大学、地域での支えあいの仕組みを活用し、安心していきいきと暮らせるまちづくりを進め、元気な高齢者の移住を促進、協働による地域づくりを目指す。移住者を獲得するため、市はモデルとなる拠点候補地を定め、民間活力によってまとまった住まいや付随する拠点を整備する。また、移住希望者が移住前から地域との関わりをつくり、移住実現の過程を繋ぐ人材の育成や、窓口となる場や機能を構築する。本取り組みを、元気な高齢者に限らず若者へと、モデル拠点に限らず市全域へと展開していく。		
事業費（円）	22,418,242	うち交付金充当額	11,209,121

2 重要業績評価指標（KPI）

重要業績評価指標（KPI）		事業開始前	2019 令和元 増加分	2020 令和2 増加分	2021 令和3 増加分	2022 令和4 増加分	2023 令和5 増加分	評価対象年度 (R3) までの 増加分累計	進捗状況
本市へ移住し、地域活動等への参加を行う移住者数	目標値（人）	-	5	5	10	15	15	20	達成
	実績値（人）	4	6	6	10	-	-	22	
移住者または移住検討者が関わった地域活動等の件数	目標値（件）	-	2	2	2	2	2	6	達成
	実績値（件）	1	9	4	7	-	-	20	
移住検討段階で本市の事業等に参加し、本市との関わりをつくった人数	目標値（人）	-	10	20	20	25	25	50	更なる取組が必要
	実績値（人）	4	14	2	5	-	-	21	

3 目標達成・未達理由

<p>①移住者が地域活動に関わる仕組みが、一部できつつあるため。</p> <p>②移住検討者に多岐に渡るニーズがあることと、そのことに対し、地域が協力的であるため。</p> <p>③コロナ禍の中、積極的な往来と、直接的に関わりをつくる事業が実施しにくい状況にあるため。</p>
--

4 評価

事業の評価	地方創生に相当程度効果があった
意見等	コロナ禍による停滞はあるものの、移住検討者と地域との関わりが、移住検討の段階を前向きに進めていると感じられる。労力と金がかかるころだと思うので、それに対して、どれだけの移住者がいたかということは、検証する必要がある。

令和3年度

地方創生推進交付金活用事業に対する評価

1 事業概要

交付対象事業の名称	ものづくり産業、企業支援型サービス産業の人材確保・育成等競争力強化事業		
事業計画期間	2019（令和元）年度 ～ 2021（令和3）年度		
総合戦略における位置づけ	基本目標	I 地域経済の好循環により「働きたい」がかなうまち	
	数値目標	5年間で新規就業者を800人創出【2020-2024年度の累計】	
事業の概要	<p>「ものづくり産業」及び今後成長の期待される「企業支援型サービス産業」の両分野を軸とした「足腰の強い産業構造」を構築していくために次の取り組みを実施していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●即戦力となる高度人材の確保・育成並びに求人発信力の強化による人材の確保・育成 ●RPA導入支援及びRPA構築人材の育成による人材不足・経営効率化ニーズに対応する業務効率、生産性向上支援 ●事業拡大を図る地域牽引事業者への施設整備への支援による企業支援型サービス産業の集積促進 		
事業費（円）	71,522,000	うち交付金充当額	35,761,000

2 重要業績評価指標（KPI）

重要業績評価指標（KPI）		事業開始前	2019 令和元 増加分	2020 令和2 増加分	2021 令和3 増加分	-	-	評価対象年度 (R3) までの 増加分累計	進捗状況
事業者への人材確保・育成等支援による雇用増加数	目標値 (人)	-	130	130	135	-	-	395	更なる取組 が必要
	実績値 (人)	0	52	120	104	-	-	276	
事業者への人材確保・育成等支援による売上増加額	目標値 (百万円)	-	0	390	475	-	-	865	達成
	実績値 (百万円)	0	0	830	4155	-	-	4,985	

3 目標達成・未達理由

新型コロナウイルス感染症蔓延の長期化の影響が大きい。リモート対応等採用活動に工夫を重ねていく。半導体関連や企業支援型サービスの業況が目標以上の実績となったことの影響が大きい。

4 評価

事業の評価	地方創生に相当程度効果があった
意見等	<p>事業実施期間を通じて、新型コロナウイルス感染症蔓延の長期化の影響を受けている中、売上増加額目標については目標値を達成している。人材確保に関しては、若い人は、転職や就職をする際にそういったところから、情報を得るのではないかと考える。酒田市の中小企業がそのような転職サイトに、自分の会社情報を載せたり、自分の会社のホームページを持っていて、採用のページを持てるような支援を強化していく必要がある。</p>

令和3年度

地方創生推進交付金活用事業に対する評価

1 事業概要

交付対象事業の名称	KOEKI(交易と公益) のまち・酒田推進事業		
事業計画期間	2019(令和元)年度 ~ 2023(令和5)年度		
総合戦略における位置づけ	基本目標	II ファンが多く、移住者・定住者・観光客が増加するまち	
	数値目標	人口に対する社会減の抑制 △485人【2018年】→△100人【2024年】	
事業の概要	観光分野における交流人口の拡大と消費の増大を図るため、日本遺産「北前船寄港地船主集落」と「鳥海山・飛鳥ジオパーク」、「クルーズ船受入」の3本の柱とそれらに付随する「食」「酒」でPRしていく。具体的には、観光産業を活性化させるための新組織の設立、新組織による日本遺産構成文化財回遊の仕組みづくりとイベントの企画運営、プロモーションの強化、日本遺産構成文化財PR施設の整備を実施する。		
事業費(円)	68,565,165	うち交付金充当額	34,282,582

2 重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標(KPI)		事業開始前	2019 令和元 増加分	2020 令和2 増加分	2021 令和3 増加分	2022 令和4 増加分	2023 令和5 増加分	評価対象年度 (R3)までの 増加分累計	進捗状況
日本遺産構成文化財施設入込み数(山王くらぶ、相馬屋、本間家別邸、本間家本邸、山居倉庫)	目標値(千人)	-	20	20	20	20	20	60	更なる取組が必要
	実績値(千人)	753	157	-266	-69	-	-	-178	
日和山公園周辺観光施設入込み数(さかた海鮮市場、さかたみなと市場、海向寺、白崎医院、光丘文庫、旧割烹小幡)	目標値(千人)	-	5	5	15	15	15	25	達成
	実績値(千人)	555	-5	-95	95	-	-	-5	
酒まつりチケット等販売金額(イベント)	目標値(千円)	-	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	6,000	更なる取組が必要
	実績値(千円)	0	2,137	-2,137	0	-	-	0	
酒田花火ショー有料席販売金額(イベント)	目標値(千円)	-	750	1,000	1,000	1,000	1,000	2,750	更なる取組が必要
	実績値(千円)	8,350	879	-9,229	0	-	-	-8,350	

3 目標達成・未達理由

<p>①新型コロナウイルス感染症拡大のため観光客数が大幅に減少した。収束後の誘客に努めたい。</p> <p>②観光客数は減少傾向だが、旧割烹小幡が3年10月にリニューアルオープンしたことから、今後の誘客が期待できる。</p> <p>③新型コロナウイルス感染症拡大のため、令和2年度に続き中止となった。</p> <p>④新型コロナウイルス感染症拡大のため、令和2年度に続き中止となった。</p>
--

4 評価

事業の評価	地方創生に効果があった
意見等	コロナの影響もあり、これまでマイクロツーリズムがターゲットとして重視されていたかと思うが、これからインバウンドは必ず戻ってくると思う。今後、酒田市としてはどのように、こういったインバウンドに取り組んでいくのか考える必要がある。

令和3年度

地方創生推進交付金活用事業に対する評価

1 事業概要

交付対象事業の名称	東北公益文科大学、地元高校との連携による人づくり・まちづくりプロジェクト		
事業計画期間	2020（令和2）年度 ～ 2022（令和4）年度		
総合戦略における位置づけ	基本目標	II ファンが多く、移住者・定住者・観光客が増加するまち	
	数値目標	人口に対する社会減の抑制 △485人【2018年】 → △100人【2024年】	
事業の概要	<p>庄内地域唯一の4年制大学である東北公益文科大学（公益大）及び市内に所在する4つの高等学校との連携・協働により、次の人材育成を目指す。</p> <p>①公益大の知見を活かし、society5.0を見据えながら、ITを活用して地域課題を解決活躍できる人材（地域IT人材）</p> <p>②学生時代から地域と密接な関わりをもち、地元志向のキャリアを形成しつつ、将来的に地域課題解決のためのリーダーとなりえる人材（地域連携人材）</p>		
事業費（円）	12,107,515	うち交付金充当額	6,053,757

2 重要業績評価指標（KPI）

重要業績評価指標（KPI）		事業開始前	2020 令和2 増加分	2021 令和3 増加分	2022 令和4 増加分	2023 令和5 増加分	2024 令和6 増加分	評価対象年度 (R3)までの 増加分累計	進捗状況
公益大卒業生の酒田 市内就職数	目標値 (人)	-	3	4	5	-	-	7	更なる取組 が必要
	実績値 (人)	17	-6	4	-	-	-	-2	
酒田市内の高校から 公益大への進学者数	目標値 (人)	-	3	4	5	-	-	7	達成
	実績値 (人)	17	6	9	-	-	-	15	

3 目標達成・未達理由

- ①令和2年度実績の影響によるもの。
②高校・大学の連携が進んできていることが要因と考えられる。

4 評価

事業の評価	地方創生に相当程度効果があった
意見等	市内高等学校との連携ということで、大変素晴らしいテーマだと思っている。地域課題の解決や探求的な学習の面で、様々な大学の先生からアドバイスをいただくというような形で、高大連携はかなり進んできていると思う。地元での人口増加が望めないのであれば、公益大学に県外からの入学者をたくさん呼び寄せるといのも、今後の人口増加に期待できるのかと思う。

令和3年度

地方創生推進交付金活用事業に対する評価

1 事業概要

交付対象事業の名称	地域の宝を核とした関係人口創出プロジェクト		
事業計画期間	2020（令和2）年度 ～ 2022（令和4）年度		
総合戦略における位置づけ	基本目標	Ⅳ 地域のつながりと安全・安心にあふれた暮らしやすいまち	
	数値目標	酒田に住み続けたいと思う市民の割合（アンケート調査） 78.2%【2017年】→80%以上【2024年】	
事業の概要	本事業では、酒田市にある「地域の宝」とも言える魅力（自然・歴史的町並み等）を活用し、情報発信を行うことで「地域の宝」に興味のある首都圏の人々を関係人口として地域と結び付けることを目指すものである。そのため、本事業により「地域の宝」を首都圏から人を呼びうる形でPRするとともに、既存の「地域の宝」に関係する組織を継続的な関係を続けられる組織に育成することで、「地域の宝」の担い手の受け皿を整備し、関係人口の創出を目指す。		
事業費（円）	15,479,506	うち交付金充当額	7,739,753

2 重要業績評価指標（KPI）

重要業績評価指標（KPI）		事業開始前	2020 令和2 増加分	2021 令和3 増加分	2022 令和4 増加分	2023 令和5 増加分	2024 令和6 増加分	評価対象年度 (R3)までの 増加分累計	進捗状況
本事業による関係人口増加数（本事業の関連イベントに参加し、継続的な関係性を持つ人の増加数）	目標値 (人)	-	0	50	100	-	-	50	更なる取組が必要
	実績値 (人)	0	11	0	-	-	-	11	
本事業に関係する団体及び本市が実施する「地域の宝」関連イベント参加者数	目標値 (人)	-	5,000	5,000	5,000	-	-	10,000	更なる取組が必要
	実績値 (人)	20,000	-12,900	-3,603	-	-	-	-16,503	
「関係人口」の受け皿となる組織体制を作った組織数	目標値 (組織)	-	0	3	5	-	-	3	更なる取組が必要
	実績値 (組織)	0	0	2	-	-	-	2	

3 目標達成・未達理由

<p>①最も参加者が見込まれるイベントの中止によるもの。</p> <p>②最も参加者が見込まれるイベントの中止によるもの。</p> <p>③既存組織が活動したことによりKPIは未達成となったが、活動している組織数自体は一定数存在する。</p>

4 評価

事業の評価	地方創生に効果があった
意見等	鳥海山には人は来るが、飲食等で地域住民とのかかわりは薄い。地域住民が稼げるよう勉強する必要がある。

令和3年度

地方創生推進交付金活用事業に対する評価

1 事業概要

交付対象事業の名称	飛島振興重点プロジェクト・飛島まるごと元気活性化事業【広域連携事業】		
事業計画期間	2019（令和元）年度 ～ 2021（令和3）年度		
総合戦略における位置づけ	基本目標	地域のつながりと安全・安心にあふれた暮らしやすいまち	
	数値目標	酒田市に住み続けたいと思う市民の割合 78.2%【2017年】→80%以上【2024年】	
連携自治体	山形県		
事業の概要	山形県唯一の離島である「飛島」において、個性的で魅力的な地域資源を活かして観光交流や産業振興に取り組む若者たちを、県と市が連携しながらソフト・ハード両面で支援することにより、飛島の基幹産業（観光業・漁業）の再生につなげるとともに、新たな雇用創出による若者の転入拡大を促進し、「飛島」の維持振興を図る。		
酒田市の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・当該事業を含む飛島振興重点プロジェクトの各種事業の企画運営 ・島内の受入体制の整備 		
事業費（円）	33,293,000	うち交付金充当額	16,646,500

2 評価

事業の評価	地方創生に効果があった
意見等	島内の課題の解決に向かう取組みが実施できたが、外部人材がかかわりやすくなる、そう思えるようにしていく必要がある。

令和3年度

地方創生推進交付金活用事業に対する評価

1 事業概要

交付対象事業の名称	移住定住・人材確保戦略的展開事業【広域連携事業】		
事業計画期間	2019（令和元）年度 ～ 2023（令和5）年度		
総合戦略における位置づけ	基本目標	ファンが多く、移住者・定住者・観光客が増加するまち	
	数値目標	人口に対する社会減 △485人【2018年】→△100人【2024年】	
連携自治体	山形県、鶴岡市、村山市、南陽市、河北町、朝日町、大江町、大石田町、寒河江市、最上町、鮭川村、飯豊町、白鷹町、尾花沢市、西川町、小国町		
事業の概要	移住定住・人材確保策を一体化・組織化し、「若者（特に子育て世代）」を主なターゲットに、本県への移住希望者一人ひとりのニーズに寄り添った質の高い移住定住・人材確保策を戦略的に展開し、県外からの移住者を拡大させ、人口減少要因の1／3を占める社会減少を抑制する。		
酒田市の役割	首都圏等県外からの若者をはじめとする移住者確保に向け、県及び新法人と連携した施策を展開する。		
事業費（円）	1,318,644	うち交付金充当額	659,322

2 評価

事業の評価	地方創生に効果があった		
意見等	オンライン移住ツアーの実施により、全国の移住検討者に対し本市の移住環境を周知する機会を創出することができた。子どもの長期休暇にあわせた長期的なプログラム（子どもだけでも体験できるものなど）を造成することで、子どもがいる方のワーケーションや、移住にも繋がるのではないかと。		

令和3年度

地方創生推進交付金活用事業に対する評価

1 事業概要

交付対象事業の名称	他産業と連携した水産業の新たなバリューチェーン等の構築による漁村と内水面漁業地域の創生事業【広域連携事業】		
事業計画期間	2021（令和3）年度 ～ 2023（令和5）年度		
総合戦略における位置づけ	基本目標	地域経済の好循環により「働きたい」がかなうまち	
	数値目標	施策効果による新規就業者の創出 800人【5年間累計】 平均給与収入額 297.6万円【2018年】→335.4万円【2024年】	
連携自治体	山形県、鶴岡市、酒田市、遊佐町、尾花沢市、庄内町、寒河江市、河北町、西川町、大江町、大石田町、金山町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村、小国町、白鷹町、飯豊町		
事業の概要	山形県の多種多様な魚介類に恵まれる好漁場や母なる川「最上川」をはじめとする多くの河川や湖沼の魅力を活かし「やまがた創生総合戦略」に掲げる「付加価値の高い水産業の振興」の実現に向け、市町村等との連携により、水産関係事業者が個々の経営課題に応じて取り組む新たなチャレンジを支援するとともに、水産物の安定供給と魚価の向上、操業効率化に向けた取組みなどにより、他の規範となるリーダーや組織の確保・育成を推進し、収益性の高い経営体の確立を図り、漁村と内水面漁業地域の創生を実現する。		
酒田市の役割	地域の産業振興の推進主体として参画し、県と連携し水産業の成長産業化及び漁村と内水面漁業地域の創生に向けた取組みを支援するとともに、事業効果を周知し、先進的な取組みの導入・普及を加速化させる。		
事業費（円）	3,000,000	うち交付金充当額	1,500,000

2 評価

事業の評価	地方創生に効果があった
意見等	海面漁業生産額の増加に向けた体制が整ってきている。